

全県研究大会

子ども自らが、心ゆくまで探究する「授業

ベースとなる授業観

10/27（金）

屋代遊学会（屋代中学校）

複数の教科だけれど、その枠を超えた同じ観点で。複数の教科だからこそ、それぞれの教科の視点を活かした違う見方で。遊びのなかで子どもが学びゆく授業をデザインします。

村瀬 公胤（麻布教育研究所所長）

10/31（火）

駒ヶ根市立赤穂中学校

「飾る」よりも「磨く」を合い言葉に赤穂中に暮らす生徒・教職員の生活や授業が、充実するよう、探究的な学びを窓口として、「結び合いの中に生きる個」が育つ学校づくりの実践を積み重ねます。

高柳 充利（信州大学准教授）

11/2（木）

小林 英成（伊那小学校）

38羽の“うずちゃん”と一人ひとりの子どもとがつくり出す世界を訪ね、子どもを感じ、子どもと共につくる暮らしのおもしろさをより味わっていきたいです。

苫野 一徳（熊本大学准教授）

11/8（水）

長野市立城東小学校

子どもと教師がおもしろがって動く探究活動。自分の壁を越えて、自発的に活動を進める学校を目指します。

岩川 直樹（埼玉大学教授）

11/9（木）

上田市立北小学校

生活科・総合的な学習の時間において、3つの視点（授業づくりの基本、教科横断的な学び、地域との協働）を手掛かりにする探究活動から、自ら学びに向かう子どもの姿を追っています。

早坂 淳（長野大学教授）

11/10（金）

長野市立三本柳小学校

本年度の重点「自分で考え 伝え合い深める」を具体の姿とするために「聴く受け止める」姿勢を大切に、教師も子どもも、互いに思いを聴き合うことをベースに授業をつくっていきます。

岡野 昇（三重大学教授）

11/13（月）

小林 勝俊（木曽町中学校）

探究的な理科学習の決め手となる「事象」と「単元展開」を研究します。「科学的な見方や考え方ははたらかせながら探究する生徒の姿」を引き出す授業を目指します。

植原 俊晴（信州大学助教）

11/14（火）

長野市立信更小学校

子どもが学びの推進者となるため、個の課題に応じるための全校授業・単元内自由進度学習・自ら選択し、基礎・基本の定着を図るためのはげみ学習を研究しています。

大畑 健二（信州大学准教授）

11/16（木）

熊谷 光（大町西小学校）

子どもの意識の流れを丁寧に追いかけてながら、子ども主体の授業づくりに取り組んでいます。また、協働的な学びを通して、子ども自身が「やってみたい」を追究する姿につながる支援のあり方について皆さんと考え合いたいと思います。

岩川 直樹（埼玉大学教授）

11/17（金）

上田市立第一中学校

日々の授業と毎朝10分間の「一中タイム」のあり方を考え、生徒が自分と向き合い、自分の学びを調整する姿を見つめ、主体的に学習に取り組む態度の涵養を目指しています。

松木 健一（福井大学副学長）

11/17（金）

川口 純（阿智第一小学校）

すべての子が楽しさを感じ、「運動好き」な子が育つ体育学習を目指します。そのために、①児童主体の授業デザイン②教材化の工夫③体育学習を通した思いやりの育成を中心に据えて研究を進めています。

藤田 育郎（信州大学准教授）

11/29（水）

軽井沢町立軽井沢東部小学校

多様な考えを受け入れたり、仲間と共につくりだそうしたりする子どもたちの姿を目指して、異年齢での活動や対話を継続することの意味を皆さんと共に考え合いたいです。

苫野 一徳（熊本大学准教授）

11/29（水）

北川 裕之（伊那東小学校）

学ぶことを楽しみ、自ら学び方を選択したり決定したりしながら考えを深める子どもたち。与えられた問いから、自ら見つけ出した問いへ。子どもたちの主体性を引き出し、培った情報活用能力を発揮しながら学ぼうとする姿から研究を深めたいです。

佐藤 和紀（信州大学准教授）

11/30（木）

塚田 巧（御代田南小学校）

「この言葉や文をもとに捉えると～」 「言葉と言葉をつなげると～」 「この人物の行動っていいの？」 など、友達や材と対話しながら、自分なりの読みをつくっていくことを目指しています。

八木 雄一郎（信州大学准教授）

11/30（木）

小林 一輝（開田小学校）

満州移民を事例として、地域の歴史のみにとどまらず、日本や世界の歴史に視野を広げて総合的に子どもたちが追究していくためにはどうしたらよいか、を研究しています。

伊藤 純郎（筑波大学名誉教授）

開催日

授業者・公開校

PR

共同研究者

参加申込について

- ・信濃教育会ホームページよりお申し込みください。公開内容の詳細・申込フォームは8月中旬より掲載します。
- また、「Booklet 信教」vol.128 もご覧ください。

その他

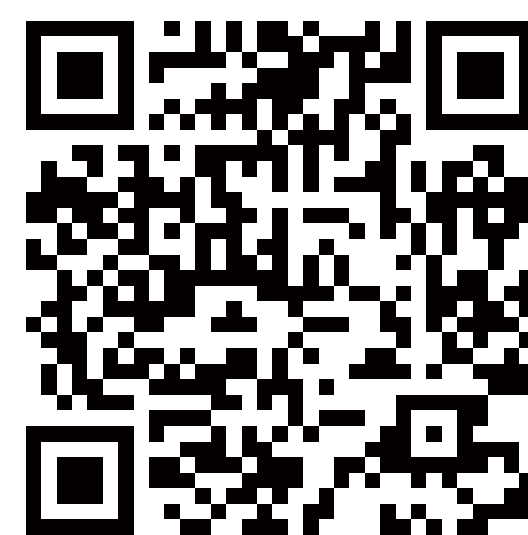
- ・参加費：無料、半日開催
- ・大会資料は、信濃教育会ホームページよりダウンロードしてお持ちください。（大会10日前を目途に掲載します）
- ・信濃教育会から参加者への旅費支給はありません。（“〇〇科研究会”等として学校で申請してください。）
- ・日程等に変更が生じた場合は、信濃教育会ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。

問い合わせ先

研究調査部：TEL 026-232-2258

申込締切

10月13日（金）



〈信濃教育会ホームページ〉

